

放っておくと危ない! 気になる症状

むくみ

「むくみ」は、血液の中の水分が、血管の壁を通ってじわじわと血管の外へ浸み出して皮膚の下に溜まった状態です。「塩分をとりすぎると足がむくむ」とよく言いますが、これは塩には体内に水分をため込む作用があるからです。また、足がむくみやすいのは重力も影響しています。健常人では、塩分のとりすぎによるむくみはすぐに良くなります。しかし、腎臓・心臓・肝臓や血管の病気などでは、むくみが病気の初期症状となる場合もあるので注意が必要です。

腎臓の病気のうち、腎炎では血液中のアルブミンというタンパクが腎臓から大量に尿に漏れ出てむく

みます。また、糖尿病・高血圧症・高コレステロール血症から動脈硬化が進み腎臓の機能が低下すると、尿を十分に作ることが出来なくなつてむくむ場合もあります。だから、むく

などで血が固まって血栓が出来ると、血液の流れが低下したり途絶えてむくみます。この場合は、血栓が出来た側の足だけにむくみが生じます。

です。尿検査は腎臓病や糖尿病を早期に見つける事ができる大切な検査なのです。心臓病では、心臓の機能が低下し血液を体の隅々まで送れなくなり、血液がうっ滞してむくみが現れます。また、肝臓が

高齢者では、手足の血流が少し悪くなつてむくみやすくなります。むくみは尿を増やす利尿剤で解消しますが、長期間の利尿剤の服用は腎臓に悪影響を及ぼすこともあります。時には、むくみとうまく付き合つてゆくことも必要だと思えます。

極端に悪くなると肝臓で作られるアルブミンが減り、むくみの原因となります。これらの病気では、病気の進行と共にむくみが全身に広がり、肺に水

この頃、顔や手足がむくみつばいとかが、むくむようになつたという方は、一度、かかりつけ医の先生に相談してみるのが良いでしょう。

が溜まり息苦しくなつたり、腹水といつてお腹に水がたまつたりすることもあります。一方、足の血管

佐伯地区医師会

医療法人社団 永井医院

永井哲士先生